Report

# 新庁舎の本当の情報をご存知ですか？

## 事実と違う噂に八潮市アセットマネジメント推進課の資料をもとに確認

### Q1 予算がどんどん上がってきている？

**▶逆です。基本設計時よりも金額は下がってきています。**

令和2年10月の基本設計の段階では、平米単価を55万円（税込）とし、保健センターを含めた延床面積14,770㎡を乗じて、建設費は81億2,400万円（税込）と試算していました。

最終的に議会に上程された予算額は、関連工事として敷地南側の水路改修などの一部外構工事も含み89億2,000万円（税込）となりましたが、入札の結果、**建設費は77億1,320万円（税込）となり、基本設計時の建設費よりも大幅に金額が下がる結果**となりました。

### Q2 近隣他市と比べて建設費が高い？

**▶比べている基準がバラバラで異なります。近隣市と比較すると特別に高額ではありません。**

草加市は94億円、越谷市は59億円、吉川市は36億円で、八潮市は105億円だから他市と比べて高いという情報がありますが、そもそも比べているものが異なります。**草加市は第二庁舎、越谷市は第二、第三庁舎が別に存在**しています。

また、比較する場合は、**構造の違い（免震なのか、耐震なのか）**や**地質の違い**なども考慮すべきです。

八潮市では、**市民アンケートで最も複合化を望む声が多**

**かった保健センターも含んでいて**、近隣他市と比較しても特別に高額というわけではありません。

### Q3 なぜ今、新庁舎を建てなければならないのですか？

**▶耐震性が不足、これを機に保健センターと市民交流の場も確保します。**

現在の市庁舎は、**震度6、7の大地震が発生した場合、建物の倒壊の危険性が高いと診断されており、耐震性が不足**しています。災害対策の拠点となる庁舎は、早期に整備していく必要があります。

さらにこれを機に市民アンケートを受けて、**保健センターを複合化**することで、妊娠期から高齢期までの**市民の健康増進への対応**、今回の**コロナ等のような緊急対策**などで拠点、情報が一元化され、**より迅速な対応が採れる**ようになります。

また、（屋外スペースとなりますので、延床面積には含まれていませんが）**新庁舎の2階中央部分に、気軽に立ち寄れる市民活動のスペース**を設け、まちづくりの様々な交流の場が生まれていくことに活かしてまいります。

## 8月28日までに 新しい八潮を創る市民の会 演説会ポスターの撤去をお願いします!!

演説会ポスター掲示にご協力、ありがとうございます。
8月29日から八潮市長選挙が告示されます。つきましてはご自宅などに掲示された「新しい八潮を創る市民の会」演説会ポスターは、8月28日までに、撤去をお願いします。
どうぞよろしくお願いいたします。

大山しのぶ政策委員長の最新情報はWEBで！ http://www.s-oyama.jp/
大山市政これまでの実績及び、これからの政策も大山しのぶホームページにて公開中です。

新しい八潮を創る市民の会 連絡先
皆様のご意見、ご要望等をぜひお聞かせください。
八潮市八潮2-18-8 TEL.048-994-6500 FAX.048-994-6001


# 新しい八潮を創る市民の会 NEWS

GO to the NEXT

令和3年8月発行 夏号
発 行：新しい八潮を創る市民の会ニュース編集部

連絡先：〒340-0815
八潮市八潮2-18-8
TEL.048-994-6500
FAX.048-994-6001

政策委員長
（第13～14代八潮市長）
大山しのぶ

大山しのぶ政策委員長・八潮市長が表明！

# 住みやすさナンバー1（ワン）のまち八潮に向かって…。

「安心」「しなやか」「多彩」を組み入れて、持続可能なまちづくりを強力に進めます！

Interview

## 人口増加率・埼玉県内2位を実現、引き続きまちづくりに全力を

私は、2017年9月、2期目にあたり、「住みやすさナンバー1（ワン）への第二章…」として政策を掲げさせて戴きました。多くの皆様にご理解、ご協力を賜り、お陰様で日々、元気に活動させて戴いています。

八潮市は令和2年度の国勢調査の速報値では、県内第2位の人口増加率を記録しました。これは八潮市が注目され、行政と市民の皆様一体となった努力が実を結び始めたことの現れだと思っています。

2020年1月に国内で第一例目となる新型コロナウイルスの感染者が発生しました。以来、わが国は、新型コロナという大きな渦に翻弄され、国、県、そして市が、この対応に膨大な力を注いでおります。

新型コロナウイルス感染症は、我々の生命を脅かす深刻な脅威であり、最優先に取り組む課題です。さらに地域の経済への打撃は大きく、貧困や格差の拡大への対策も、迅速な対応が必要となっています。

また、脱炭素・プラスチックごみをはじめとする地球温暖化対策、環境対策など広範な課題への対応が求められています。

私は、「住みやすさナンバー1のまち八潮」に向かって、ウイズコロナ・ポストコロナの社会に「安心・しなやか・多彩」という新たなキーワードを組み入れ、コロナ対策とともに、持続可能なまちづくりを強力・迅速に行っていきたいを思っています。それが、これまで政策を進めてきた私の責任であり、使命であります。

〈2面に続く〉

Profile　大山しのぶ政策委員長（第13～14代八潮市長）

- 昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ
- 八潮町立第三小学校（現・八潮市立八幡小学校）～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。
- サラリーマンの後、昭和61年から国会議員秘書経験12年。
- 平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。
- 平成12年、埼玉県議会議員初当選。（連続4期）
- 企画財政委員会委員、緊急経済対策特別委員会委員、八潮市体育協会会長等を歴任。
- 平成25年13年間務めた県議を辞し、八潮市の再生・発展を目指す市民中心のグループ「新しい八潮を創る市民の会」政策委員長。
- 平成25年9月、第13代八潮市長に就任。
- 平成29年9月、無投票で2期目就任。

## 新型コロナウイルス関係サイト

情報は日々、更新されます。最新情報をご確認下さい

首相官邸　埼玉県　八潮市

# 住みやすさナンバー1（ワン）のまち八潮に向かって…。

大山しのぶ市長にインタビュー

## 「安心」「しなやか」「多彩」を組み入れて、持続可能なまちづくりを強力に進めます!

### 私の考えるこれからのまちづくり、今後の方向を示す4つの柱

私は、これから

■新型コロナに負けない安全・安心なまちづくり

■SDGs（持続可能な開発目標）へ向けた、住み続けられる、多彩なまちづくり

■カーボンニュートラルを目指す地球にやさしいまちづくり

■八潮市国土強靭化地域計画の策定による災害に強く、しなやかなまちづくり

を柱に、総合計画の見直しを図り、市長としての政策の実現に邁進して参りたいと思います。その中で、今日は紙面も限られている中で、いくつかのポイントを説明させていただきます。

まずは「新型コロナに負けない安全・安心なまちづくり」です。国、県と連携しながら、ワクチン接種の加速化、検査の加速化、病床医療機関への支援、見守り強化、医療・保健体制の充実を進めることはもちろん、ウイズコロナ・ポストコロナの中でも感染拡大を抑えながら経済活動を再開していかねばなりません。困窮する事業者・世帯・個人などへの支援も急務です。地域経済が回復、成長を模索する時期の中で、国や県と連携して、企業活動を下支えしていかねばなりません。地域の実状にあったきめ細かな対策を進めるのは市の役割です。

その一環として、私としては市が積極的に呼びかけて、金融機関、企業を組み入れた勉強会などを立ち上げ、情報共有を図り、地域一丸となってコロナ禍、事業承継などを含む課題解決を図る取り組みを進めたいと思っています。

次に「SDGs（持続可能な開発目標）へ向けた、住み続けられる、多彩なまちづくり」です。私は市長就任前から「共生・協働」のまちづくりを掲げ、「まち」「社会」「人」の3つが健康であることを理想としてきました。近年、クローズアップされている「SDGs（持続可能な開発目標）」ともまさに合致するものです。

今後は、さらに住みやすさを追求するため、様々な価値観や考え方を八潮のまちづくりに積極的に導入していくことが重要です。その大きな意識のもとに市の審議会などへの女性の積極登用、女性の参加および平等なリーダーシップの機会の確保、多様性を認め、受け入れていくインクルージョンやダイバーシティ社会を推進するための事業の研究とアクションプランの策定を進めて参ります。

また、LGBTパートナーシップ制度は来年度中に実施していきたいと思っています。

さらに、八潮に住む50か国、約4,000名の外国人との交流も図り、多様な価値観を組み入れることで八潮のまちづくりに多彩な広がりと個性を育てていきたいと考えています。

次は「カーボンニュートラルを目指す地球にやさしいまちづくり」です。国は2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。市としても、埼玉県東南部地域の5市1町で、気候変動を抑制するために、「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。この宣言を4年間で実行段階へ移すために施策を考え、実行してまいります。

プラゴミをはじめとしたゴミについても、政令指定都市規模の5市1町の地域の中で削減や再利用に取り組み、環境負荷の低減に向けて、みんなで協力しようという意識と仕組みづくりを八潮市が積極的に呼び掛けて、リーダーシップをとっていきたいと考えています。

最後は、「八潮市国土強靭化地域計画の策定による災害に強く、しなやかなまちづくり」です。いかなる災害が発生しようとも市民の生命を最大限守り、地域社会の重要な機能を維持する「強さ」が必要です。同時に生活経済への影響、市民の財産及び公共施設の被害をできる限り軽減して、迅速な復旧と復興ができる「しなやかさ」も持たねばなりません。

これは単なるハード面の施策だけではありません。庁舎、上下水道、情報などのインフラ問題、市民の心身の健康、災害に対する教育や子育て環境などすべての分野にリンクする政策として進めていく考えです。

こうして、これまでの政策に「安心」「しなやか」「多彩」を組み入れて、「共生・協働」「安全・安心」の根幹につながる、コロナに耐えながらも「住んでいける」「住んでよかった」と思えるまちづくりを全力で進める決意です。

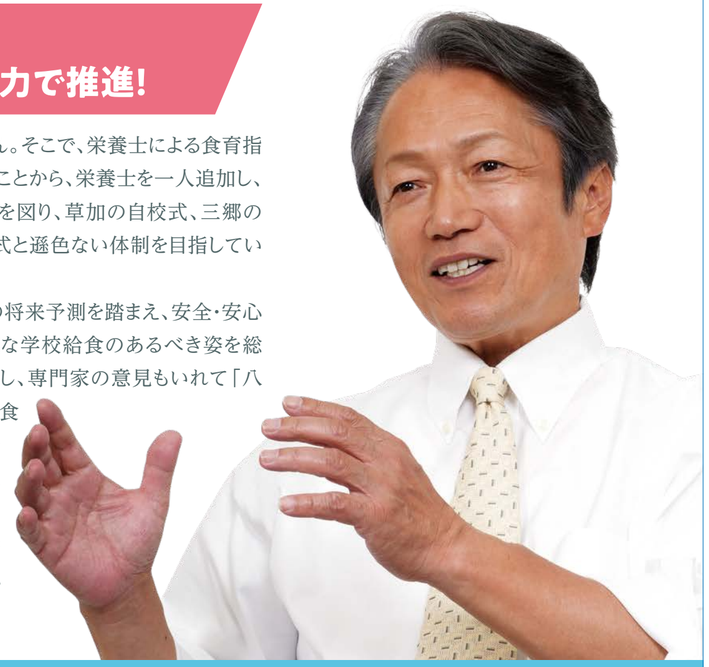
### 安全・安心で、食育を充実…「八潮市学校給食ビジョン」を全力で推進!

八潮市では令和2年6月に学校給食で食中毒事故が発生し、多くの児童生徒・教職員の方々が健康被害を受けました。市長として心より、お詫びとお見舞いを申し上げる次第です。

事故を受け、8月28日に有識者・学校関係者などで「八潮市学校給食審議会」を立ち上げ、学校給食の在り方について11月4日に答申を受けました。八潮市教育委員会は、その答申を受け、現在、衛生管理対策と食育の充実に取り組んでいます。

八潮市は現在、自前の給食センターなどが持てず民間に委託している現状です。公設であれば県が栄養教諭を派遣することができますが、八潮市は民設なのでそれは、かないません。そこで、栄養士による食育指導は可能なことから、栄養士を一人追加し、今後も充実を図り、草加の自校式、三郷のセンター方式と遜色ない体制を目指していきます。

また、市の将来予測を踏まえ、安全・安心で持続可能な学校給食のあるべき姿を総合的に整理し、専門家の意見もいれて「八潮市学校給食ビジョン」を早期に策定し、しっかりと進めて参る決意です。



## 大山市長に託します！私の想い、みんなの願い。

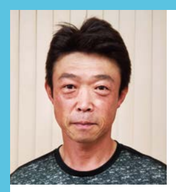
「新しい八潮を創る市民の会」へのご意見や政策要望は大山委員長が担当します。
皆様からのご意見をお待ちしています。

【順不同】

**今の「健康・福祉」をさらに進めて…**

八潮市はフレイルサポーターを県内初、導入するなど、シニア世代がいきいきと暮らせるまちづくりに力を入れてくれています。大山市長、この動きをさらに進めてください。

山野 智恵さん（介護職）



**「八潮ブランド」で事業者の活性化を**

県内で事業所数第3位を誇る八潮市。高い技術をもつ事業者がたくさんいます。それらを「八潮ブランド」としてさらに発信し、市内経済の活性化に期待しています。

塩﨑 享哉さん（大工）

**安全で事故の無いまちをお願いします**

大山市長になってから、防犯カメラを増やすなど、犯罪や交通事故から守る政策を進めてくれています。引き続き、事故や犯罪のないまちづくりをお願いします。

藤波 光子さん（主 婦）

**これからも人に「選ばれるまち」に**

八潮市は交通の便もよく、不動産業界も注目のまちです。大山市長には、まちの魅力を高める政策で、これからも人に「選ばれるまち」になるよう、お願いします。

酒井 伸規さん（不動産業）

**コロナに負けないまちづくりを**

八潮は、お祭りが多く、人との交流が盛んなまちです。大山市長には引き続き万全なコロナ対策で、このまちの良さ、活力を生み出す政策を期待しています。

古姓 よしえさん（主 婦）

**物流の拠点として、産業の更なる発展を**

八潮は今後、外環道の新設PAやスマートインターで、物流の拠点となることが期待されます。大山市長には、それを推進し、産業界の更なる発展につなげて欲しい。

鈴木 俊一さん（会社経営）